

こうどうじ いせき 19. 興道寺遺跡

所在地：三方郡美浜町興道寺

調査原因：内容確認

調査期間：平成30年10月16日～12月13日

調査主体：美浜町教育委員会

調査面積：43 m²

時代：古墳時代後期



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 今回の調査地も昨年度の調査と同様、国史跡・興道寺廃寺跡の寺域外の北方にあたります。小字狐塚の河岸段丘崖の付近で、昨年度の調査区の東側で調査を行いました。

遺構 表土直下の極めて浅いところに段丘の地山面があります。昨年度に調査された円墳北側の周溝から続く東側の溝の一部と考えられる、いびつな孤状となる幅 1.4mほどの溝 1条が見つかりました。溝の深さは 0.2mと浅く、一部に拳大の礫が埋没しています。北側の周溝と同様に、黄褐色土と黒褐色土で整地しながら溝の底面を造り出していることがわかりました。埋土から 6 世紀後葉以後の須恵器片が出土しています。古墳の墳丘土や石室は既に失われています。

他には、竪穴建物跡 1 棟の床面が見つかりました。建物の壁面は削られ、貼床や焼土がわずかに残っていました。東西 4.0mほど、近辺で見つかった竪穴建物跡と似通った平面規模です。はっきりとした構造や時期はわかりませんが、7～8 世紀のものと考えられます。他には土坑、小穴が見つっています。

まとめ 今回の発掘調査で 6 世紀後葉以後に造られた径 10mほどの円墳であることがわかりました。また、調査地のすぐ北側の県埋蔵文化財調査センター調査区 (C 区) でも竪穴建物跡と考えられる遺構が見つっていますが、興道寺廃寺跡に関係する雑舎などの建物群がさらに北側まで広がっていることがあきらかとなりました。(松葉竜司)



写真 1 円墳東側の周溝の一部 (南から)



写真 2 竪穴建物跡の床面 (北から)